

平成30年度男女共同参画推進活動事業

男女共同参画につながる 市民企画事業報告書



さぬき市

男女共同参画につながる市民企画事業一覧

1. 「超高齢社会を見据えた、在宅介護推進事業」

超高齢社会を迎えたさぬき市では、介護のあり方や命との向き合い方に悩む人が増えている。そこで、高知県西部で在宅医療・在宅介護に取り組む小笠原望医師による講演会を開催し、性別を超えた先にある「人と人との絆の大切さ」について考えてもらう。

《さぬき市婦人団体連絡協議会》

2. 「CATVで情報発信！」パート②

～12人にひとりにはLGBT。生きづらい社会を変えなくっちゃ！～

多様性を認め合えるさぬき市となるよう、性的少数者（セクシュアルマイノリティ・LGBT）当事者をゲストに招き、LGBTの現実について実感してもらえる番組を制作し、さぬき市コミュニティ放送（CATV）で放映する。

《いきいき市民の会「明風」》

3. 「男女共同参画の視点からキャリアを考える」出前講座

さぬき市内の中学校と連携し、職場体験学習に臨む生徒が「働くこと」の意味を考えるキャリア学習を実施することで、次世代を担う子どもたちに自分らしくいきいきと生きることの大切さを学んでもらう。また、シニア向けのキャリア学習会も開催することで、シニアの自己肯定感を高めることの意義を探る。

《さぬき市キャリアサポート》

4. 「釈迦族の末裔による国際交流事業（講演会）」

近年、増加している外国人遍路巡礼者への対応のあり方を検討する方策の一つとして、日本の大学で教壇に立つ外国人教員による講演会を開催し、国際交流への市民理解を深めてもらう。

《おへんろつかさの会》

5. 「映画から考える」～世界を男女共同参画の視点で楽しく学ぶ～

男女共同参画意識や異文化理解を高めることを目的として、外国映画を活用した取組を行うことで、地域に暮らす様々な世代が集って交流できる場づくりのヒントを探る。

《さぬき市友好翼の会》

※記載内容は、実施計画書に基づく。



「超高齢社会を見据えた、在宅介護推進事業」

《さぬき市婦人団体連絡協議会》

男女共同参画推進活動事業
実績報告者

（団体名：さぬき市婦人団体連絡協議会）

事業の名称	超高齢社会を見据えた、在宅介護推進事業
テーマ	9男女共に支え合う福祉環境づくり
開催日時	平成31年2月3日（日）PM13:30～PM15:00
開催場所	さぬき市津田公民館 大ホール
事業の実績 （実施内容） （参加者数）	<p>市民を対象にした講演会</p> <p>開 会：主催者及び来賓あいさつ（大山市長・安藤教育長）</p> <p>演 題：いのちを抱きしめて！ ～在宅医療・自宅介護はどうあるべきか～</p> <p>講 師：小笠原望 （高知県四万十市医療法人 関の会大野内科医院院長）</p> <p>かかりつけ医として、在宅医療に力を入れている医師</p> <p>内 容：講演は、ことばを大切にしたり語り口で、臨床現場の日常を軽妙なやり取りで話し、最後「赤とんぼ」を全員で歌って締めくくり、余韻の残る講演会となった。</p> <p>参加者数：263名（婦人会員212名 一般47名要約筆記4名）</p>
事業の効果 （工夫した点、反省点、参加者からの意見など）	<p>効 果：・介護のあり方や長続きする介護の心得について、具体的に話されたので、共鳴し介護不安解消へ繋がった</p> <p>・講師の人柄に触れ、失われつつある人と人との絆の大切さに気づいたのではないかと期待できた。</p> <p>・認知になっても、可愛い老人になるための、講師が実践している「ことば」は非常に参考になった。</p> <p>・一般の参加者も多く、特に、男性の参加者が目立ったので男女共同参画の啓発に広がりがあった。</p> <p>工夫点：・市民が求めている講師やテーマを選択した。</p> <p>・会場を喫茶風にし、和やかな講演会とした。</p> <p>・講師の内容が、より分かりやすくする為、要約筆記「幸」に協力を依頼した。</p>

○在宅もいいなー ようは愛なんだ！！

○大変参考になりました。これから必要になるので勉強になりました。楽しく聞かせてもらいました。(9)

○大変、いい講演会でした。ありがとうございます。(5)

○病院と在宅のちがい。一緒に生活することが大切。何が起こるかわからないので期待はもたない。心も言葉もやわらかく。介護に対してゆとりを持つことの大切さ。自分の生きるぜったい介護がある。心の持ちかた(ユーモアをもつ)を教えてくださいました。ありがとうございました。(2)

○私は両親が早く亡くなったのですが、もう少し早く介護の事を聞いていたら良かったが今後色々、参考にしたいと思います。

○楽しいお話の中に要約された、介護に対する心がまえを教えられました。気持ちが楽になりました。ありがとうございました。(2)

○遅刻してでも来て良かったです。

○やわらかくやさしく自然体で人に接する気持ち。いのちはよく生きてきたねという気持ち。ありがとうございます。

●ほっこりとした気持ちでお話を聞くことができました。介護のポイントをいくつか学ぶことができました。認知症には役者になる。言葉がけは「わかる。かわる。その気持ち。」などどれも相手を認めてあげることから始まると思います。まずは認めてあげられるよう、自分自身の心に余裕を持ちたいものです。ありがとうございました。

○介護は理屈ではないこと。介護は汚れること。少し距離のある賢い嫁が最適。私も実父2年介護しています。「いい仕舞をする」私も格(こう)ありたいと思います。介護は心をやわらかく、疲れたら優しく、分かる・分かるその気持ちの精神で。

○日常に使える事を大切に。大変楽しい時間でした。ありがとうございました。

○これからの生き方を教えられる講演でした。

○在宅に希望が見えました。話がじょうずなので、最後まで引き込まれました。

○介護に対しての気持ちが変わりました。介護は汚れる仕事。ユーモアを持って。先生のやさしい人柄。大変いいお話をありがとうございました。

○先生のお話を聞かせて頂き、心の持ち方、ユーモアのある言葉、夫婦仲よく心おだやかに暮らしていきたいと思います。ありがとうございました。

○明日は我が身の年齢になり身にしみました。心に止めて生きたいです。ありがとうございました。

○大変良かったです。もう一度お願いいたします。

○初めての参加！大好きな小笠原先生の話が聞いて良かったです。

○ことば仕ぐさにのせて接することが良くわかりました。これからもその気持ちを忘れないで接したいと思う。

○経験、豊かな人の話はとてもわかりやすかった。とても良い時間を過ごさせていただきました。自宅介護、きれい事ではすまない話、少し気をぬいてがんばります。

○在宅医療について、いろんな例をほっこりとした口調で話してくれました。主人と自分の遠くない未来をつくづく考えました。こういう優しい先生が近くにいるといいなあとしみじみ思いました。

○とっても身になる、為になるお話 ありとうございました。ちょい未来の老々介護に役立
てます！！

○介護される者、する人の心。そうそう分かるという位の心の余裕。

●今日はとてもいいお話しを聞かしていただきありがとうございました。自分の気持ちの持
ち方で介護は変わるものだと思った。自分が介護を受ける時も気持ちの持ち方を変えなけれ
ばいけないと思う。やはり感謝の気持ちが大切であるもっともっとお話しが聞ければと思った。

○介護の話してはありましたが、自分がどう生きていくか心にしました。本当にありが
とうございました。

○元日赤 みどり園の職員です。昨年のNHKラジオ深夜便アンコール放送（5月号）を読
んでから今日、楽しみにしていました。今は介護福祉士として働いています。職業として0
才（保母）から命の仕舞いとしてのみとり（施設）までかかわっていることに不思議な思い
です。（祖父、祖母とも自宅介護でした ディケア入浴を利用しながら）

○介護は「ユーモア」と汚いと思わないこと、自分もいずれ行く道だから。今日は良かった
です！！

○命に大切さを笑いとお話をまじえて下さった事、大変勉強になりました。

○介護の講演を聞いて十数年も前の主人の両親をみとった事を思い出しました。これからは
八十才を過ぎた主人との二人三脚で毎日の生活を送っていかれるよう心掛けていきたいと思
います。

○平成5年に日赤へ入院した時に初めて先生にお会いしました。もちろん言葉なんてかわし
ていません。でもお話しは是非お聞きしたいと思っていました。その機会にめぐまれ大変良
かったと思います。またお願いします。

○大変良かった。介護の仕方、少し気を抜く事も大事。家族も一息いれながら介護するのが
大事なのではないか。

○気持ちの持ち方。言葉のかけ方。ユーモアに大切さ。とっても参考になり楽しくなりまし
た。

○本当に身に余る程、大切な良いお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。自宅介護
について、心の持ち方、会話の仕方、ユーモアの大切さ、言葉の大切さ…等。又、先生の講
演をきかせて頂きたいと思いました。

○介護を通して自分の生き方、死に方のトレーニングをしているという事。最後はしみじみ
が似合う。この二つを心にとめて、これから生きていきたいと思います。

○ユーモラスもあって大変よかったです。私も人生を先生のおっしゃる様によるこんで行け
る様な気がしています。ありがとうございます。

○介護は自然体で自分も相手も肯定することが大切なことを教わりました。有難うございま
した。

○私にとって身につまる話をお聞きする事が出来ありがとうございました。義父母、両親に
感謝したいと思います。

○大変、勉強になる有意義なお話を聞かせて頂きありがとうございました。身近なことを例
に出して話をしてくれ在宅での仕方がよくわかった。病院の様にはいかないのがあたりまえ
と言うこと。

○人はやさしさを待っている。自分の生き方のトレーニング。心に残りました。

○いいしまい方を意識して生活していきたい。言葉の大切さ思った。

○私も将来は病院では死にたくない。自分の家で死にたいと思います。在宅介護は楽しく難しい事ではないというのが分かりました。会話はおだやかに肯定すること。ありがとう。お世話さま。ユーモアをもって、あまり几帳面にならず。

○感動しましたにつきます！（2

○介護は一心同体にならず、距離感を置く事が大切。息抜きを上手にする。期待・予定を立て過ぎない。心、言葉をやわらくするといやされる。認める言葉、感謝の言葉の大切さがわかりました。

○在宅、自宅介護のお世話するも訪問してくれる医者を見つける。ケアマネの噂を良く聞いてくれる。頼む、たよるが必要。汚れる事をなんとも思わない。お世話する人がユーモアのある人。ありがとうの言葉はいいですね。

○ユーモアたっぷりのお話で、大変笑わせて頂きました。在宅医療の大切さを教えていただき、命が一番、いつか終わる命ならユーモア大事に、しみじみが似合う生き方したい。そう思いました。私も役者になりたい。

○本日の講演、楽しみにして夫と二人で参りました。お元気な先生にお逢いでき、とてもいい講演でした。

○大変わかり良いユーモアあふれる話し方にいつまでも聞きたい気分になりました。

○先生のお人柄を見せていただきました。本当に心に残るお話でした。

○現代の病院医療に対しての在宅医療の心のこもった人間味のある介護医療のあり方をユーモアあふれる語り口でとても良かったです。介護は汚れる汚れてもいい楽にあたたかくそうしたいです。

○昨年、台風で中止になってから今回を心待ちにしていました。60才台で両親を自宅で看取り、現在は高齢夫婦世帯となっていますが、老後自然体でどう生活すべきか不安でしたが、私達夫婦も出来るだけ自宅で生活し、終わりを迎えたいと思っていましたが、小笠原先生の講演を聞いて、そのことに勇気がわいてきました。今後明るく生活したいと思いました。

○介護、看護生活はもとより、毎日の生活の中に活かせると思う。自分の中にユーモアを今以上に取り入れて行きたい。

○義母を介護しましたが、今なつかしく思い出しました。先生のいわれる通り、本当にうなづけました。思い出しました。あの時は良く介護したなあーと。今後は受ける立場になりますが少しでも心の整理をしておきたいと思いました。ありがとうございました。

○小笠原先生の現場の話をおり込んでユーモアな話、ありがとうございました。日赤高松にいらっしゃった時以降のお話を楽しみに来ました。十分に楽しめました。お元気で！！

○「しみじみが似合う最期」がいいな、のことばが心に滲みました。両親、義理の両親を介護しながら、時代が反映されると思いました。これからは更に介護に関わる市民が多くなってきますが、小笠原先生が大切にされていることばを周囲の方に伝えていきたいと思います。いつか終わる（命）なら、今を輝かそう！！ありがとうございました。

○良いお話でしたので、考え方を替えたいです。在宅医療に期待したいです。

○在宅医療、自宅介護の講演を初めて聞いて、心やからか、ユーモアを持って最後に行きたいと思えた。

○ユーモアを入れて参考になる話がきけて、本当にいい話が聞けた事が本当によかったです。なにかあった時は今日の話しを思い出します。(2

○私は一人暮らしなので、行政のお世話にならなくてはいけないと思っていましたが、今日は小笠原先生の話を聞き、出来るだけ自分の事は自分でし、在宅医療が出来たらいいと思いますが、今はそれをしてくれる医者がいなくてしょうね。

○大変うれしいお話、ありがとうございます。歳から言ってももう介護を受ける身です。今の先生のお話を胸にこれからの日々を生活しようと思います。

○ありがとうございました。「いのち」のこと、たくさん聞いて今日は貴重な時間、感動しました。

○大変、良いお話でした。心にしみました。これから先、折々に思い出さす事と思います。

○お話を聞く事ができてよかったです。ユーモアを大事に力を抜くことが大切、これをいかせられたらと思います。実家の両親の介護に参考にさせていただきます。

○小笠原先生の大ファンの一人です。この講演会を開催しれいただき嬉しく思います。昨年、雪の中、高松東イオンの「ドキュメンタリー」上映で頂いた、先生の言葉を糧に母を介護しています。

●1人でがんばらなくてもいい。助け合いながら行く。言葉はやさしく。人生は楽しく。少しづぼらが良いがいい。

○ユーモアのある話で大変良かったです。誰かに相談する事が一番ではないかと思いました。又もう一度聞きたいです。

○自分の両親は兄夫婦に在宅でみてもらいありがたかったです。主人の父は風邪をこじらせ1週間でアツという間に逝ってしまいました。姑は去年の夏から施設でお世話になっています。職員さんには頭が下がります。会いに行く時は「役者」なってやさしい言葉をかけようと思います。

○小笠原先生とは2回目のお会いです。介護から介護される身になりました。今回の講演会は大変良かったです。自分を大切にこれからは自分流に生きていけたらいいなあと考えております。

○自分の自宅介護を振り返りました。先生の出版の本をみなさんに読んでほしいと思います。

○先生がよくわかるお話、大変よくわかりました。やさしさあふれる最後の歌は赤とんぼ、目頭が熱くなりました。本当にありがとうございました。

○これから先、介護を受ける側の気持ち「ありがとう」「世話になるね」「すまんね」「あなたのおかげで」を忘れずにしたいと思います。

○本日は大変いいお話を聞かせていただきありがとうございました。母を9年、在宅医療で自宅介護させていただいています。ことばに気をつけて頑張ります。役者になります。

○介護の話にユーモアをまじえて楽しく話していただきありがとうございました。両親の介護を10年位して、誰もありがとうともよくやったねとも言ってくれないと悲しく思っていたのですが、今日、先生に全部言ってもらってホッとしました。又機会があったらぜひお話をお聞きしたいと思います。

○義父・母を見ました。思い出しました。

○介護される年齢になり、一日ひとり暮らしをしています。楽しくお話を聞かせてくれてありがとうございました。

○相手の世界に入っていった感情的にならない、役者になる事が大事。認知症に対処する心がまえなどよかったです。

○本日は良い講演に参加させていただきありがとうございました。今度の親の介護に役立てて、仕事に役立てていきたいと思いました。本当にありがとうございました。

○とても良かった。自宅介護も気楽にやればいいですね。

○私も何年か自宅介護をしましたが、今の自宅介護をして良かった。赤とんぼ唄っていて涙が出ました。本当に良かった。

○先生のやさしい介護を聞いてこれからは、今日のお話をいつまでも心に残しておきます。ありがとうございました。

○今、介護生活最中です。お話を聞いて、又、心が明るくなり、いやな事を忘れて過ごす事が出来そうです。

○在宅介護の在り方、言葉の大切さがよくわかりました。自分も優しい気持ちを持ち皆に接していと思いました。

○とても良い講演会でありました。私達も在宅介護を楽しく出来そうに思いました。

○介護をしている私にとって、とてもこれから参考になり勉強になりました。私も充分なことはあまりできなので安心しました。

○小笠原先生のお話を10年前にききたかった！！主人、父の介護のこと・・・在宅介護のこと。

○人生において在宅介護の大切さがよくわかりました。でも1人暮らしの人にとってはどうしようもなく辛いですが、お話の中にいつも明るく笑いのある生活を頑張りたいと思いました。

○有益なお話ありがとうございました。介護とは少しですが理解できたと思います。これからの生活の中では優しさとユーモアを持って生きていきたいと思います。

○楽しいお話でした。ゆっくり、やさしく静かに終わる人生を考えさせられました。母二人(95才)を見る目が変わりました。

○本当に心に残りました。これから介護に役立てたいと思います。認知症になった人に役者になったつもりで聞いてあげる。相手を否定しないで肯定する、いい勉強になりました。まじめにならない、話を合わせてあげるのがいいと分りました。参考になりました。

○とても、とれも良かったです。今年80才を迎え母がいます。おかげ様で今は元気になっています。これから、そして自分自身の老後にもたくさんの気づきがありました。ありがとうございます。

○実際の医療の中での話がしみじみ心に残る話で、在宅介護の良さを改めて教えられたように思います。きっちり、し過ぎない良さ、介護者の心のゆとりが大切であること。原稿が半分残ったそうなので続きもお願いしたい。主人にも聞かせたかった。

○こんな素晴らしい話を聞いて、自分の事を言ってくれているみたいでうれしいです。ありがとうございました。今、自分のしている事をわかってくれたみたいです。

○ユーモアたっぷりの講演を聞いて、今迄、自分のして来た事が良かったと思いました。大変に参考になりました。

○まず、多くの聴講者に驚きました。それだけ医療介護に対する関心が高まっているのだと感じました。分かり易い、又、今後の参考になる講演でした。無理をしない介護を学びました。婦人会の皆様ありがとうございました。

○色々勉強になりました。心ゆたかで帰れます。

○この世の中は春・夏・秋・冬が繰り返す様に人生もそのとおりに思います。その中でいのちと向き合う中、在宅医療のあり方を教えてもらった様に思いました。その場、その場でやっていけばと思えました。人生、息ぬき大事ですね。手抜きもですね。色々な意味で大変勉強になりました。有難うございました。

○10年近く、両親を介護してきたが、もっと早く話しをきいていれば、やわらかくなっていたと思う。孫もうまれて、両方の面倒をみたが、男の孫が保育所にいた時、私の介護をみていて、とても優しくよく面倒をみてくれました。小さい時に経験させているといいと思った。今、孫は高校生、今もやさしくしてくれます。

○無理をしないで介護が出来る事がわかりました。人の世話にもなり自分が出来る事をしようと思えます。言葉もやさしく相手に伝える事。

○自宅介護、主人の母を介護したことを思い出されました。今、考えるともう少し余裕があれば生活が変わって来たのではないかと思えました。これからどう生きていくか？を今日、夫と話し合い、今晚から夫にお酒をつぎながらこれからもよろしくと伝えたいと思えます。ありがとうございました。

○5年半位、姑の在宅介護をしました。最後はストレスでダウンして入院してしまいました。先生の話の先に聞いていれば、よかったと思えます。

○とてもよかったです。素直な気持ちになって介護が必要になった時はあまり頑張らずに楽しみながら行きたいと思えます。

○看護する方、される方、色々詳しく話していただいたので良かったです。

○小笠原先生のお話は3回目でしたが、先生のほんわかしたしゃべり方にいつもほっこりさせてもらっています。ありがとうございました。在宅医療がこのさぬき市でも実施する病院が増えてくれる事を望みます。

○身近な介護の問題をやわらかく説明してくれ、わかりやすかったです。次回も先生にお願いしてほしいです。

○介護ってというと、かまえてしまって、大変だとかできるかだとか思っていたけど、先生の話聞いて楽になった気がします。

○先生のゆっくりほっこりする語りは何ともすばらしいみとりの医療ですばらしい対応していること尊敬致します。本当に良い話、ありがとうございました。

○自分が年老いて一人で住んでいるので、介護してもらう立場なので、病院・施設にはいった時に「ありがとう」「お世話になるね」を言いたいと思えます。大変良かったです。

○介護の心配り、あり方、気持ちの持ち方、自分のためにする。大変勉強になりました。

○先生の貴重なご体験と高い人格から話された内容は深く感動いたしました。後半の生きた言葉は介護する人、される人には勿論のこと、現在生活していく中で人と接する時にも生きていく価値だと思えました。

○両親を看取って来た結果、自分は子供達に世話をかけないと思ってきましたが、先生の講演を聞き介護について考え方が変わりました。介護される側になり、大変参考になりました。言葉、大変大事 よい人生が終えるよう努力したいと思えました。

○ユーモアのある在宅医療の様子が良くわかった。言葉は大切ですね。心に生活していきたいと思えます。



超高齢社会を見据えた在宅介護推進講演会

さぬき市男女共同参画事業

四万十の赤ひげ先生^{やっ}て来る!



参加費
無料

演題

いのちを抱きしめて!

～在宅医療・自宅介護はどうあるべきか～

講師

おがさわら のぞみ

小笠原 望 先生 (医療法人 ^{とき} 関の会大野内科院長)

日時

平成31年2月3日(日)

開場 13:00 開演 13:30～

場所

さぬき市津田公民館 (津田町津田 138 番地 16)

※どなたでも参加OK! 直接会場へお越し下さい!



小笠原 望 先生のプロフィール

元高松赤十字病院神経内科部長

1951年高知県土佐市生まれ

高松赤十字病院を経て1997年大野内科

(四万十市)2000年同院長

「かかりつけ医として、在宅医療、神経難病、
こころのケア」に「四万十のゲリラ医者」として活動中

「CATVで情報発信！」パート②

～12人にひとりにはLGBT。生きづらい社会を変えなくっちゃ！～

《いきいき市民の会「明風」》

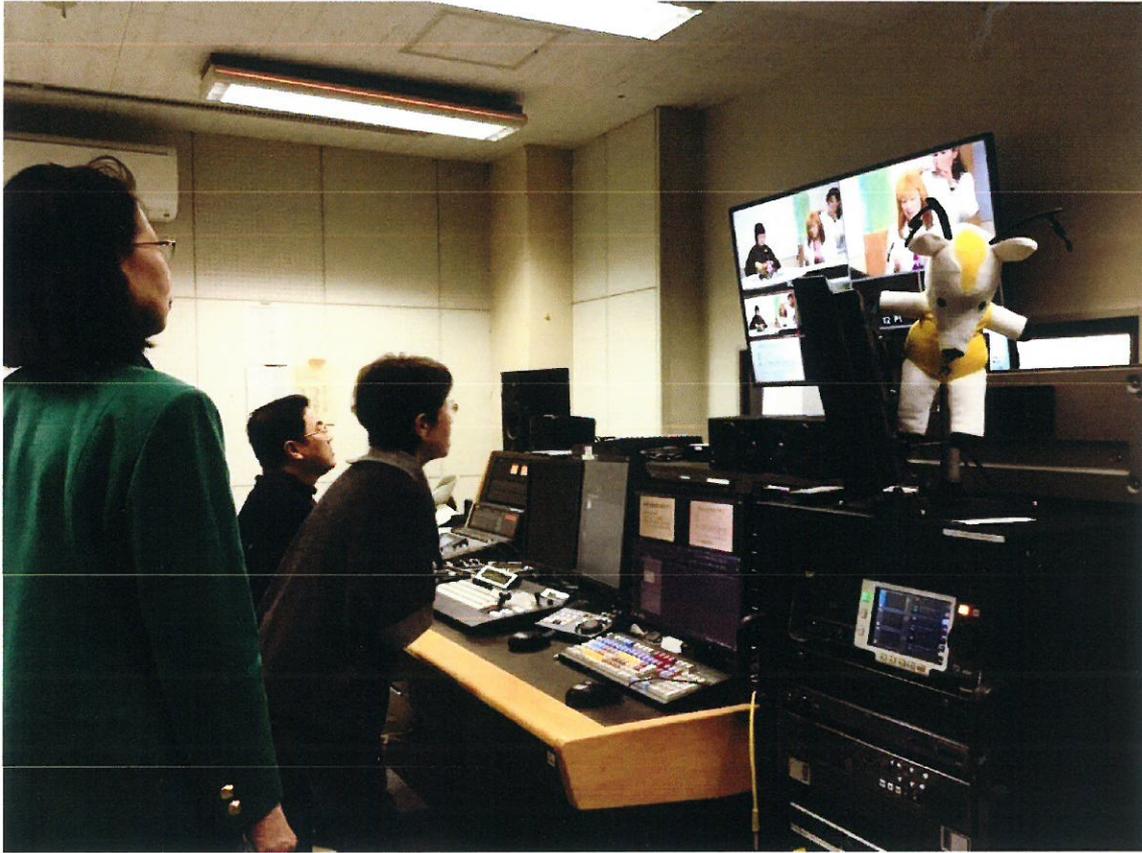
男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：いきいき市民の会「明風」）

事業の名称	「CATVで情報発信！」パート② ～12人にひとりにはLGBT。生きづらい社会を変えなくっちゃ！～
テーマ	人権の尊重と男女共同参画の意識づくり
開催日時又は納品日	収録日 平成31年2月18日
開催場所	収録場所 ケーブルネットワークセンター
事業の実績 (実施内容、参加者数、 納品数など)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民に「LGBT」の正しい理解と、多様な価値観を受け入れることの大切さを伝える12分間の番組を、木村アンリさんとの対談形式で作成した。 ・LGBTを具体的に知ることにより、本人並びに周囲の対応等の理解に結びつけ、マイノリティといわれるものが、正しく理解されることにより多様性を認め、「自分らしく生きる」ことのできる暮らしやすいさぬき市を次世代へ繋ぐことを目指した。 ・「自分らしく生きることの大切さ」を伝えるため、絵本「わたしはあかねこ」（サトシン/作、西村敏雄/絵、文溪堂/刊）を活用した。 ・番組は、さぬき市コミュニティ放送（CATV）で放映するとともに、様々な機会を活用できる意識啓発手段としてDVDを作成した。 <p><事前打ち合わせ等></p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018/3/26 企画の打ち合わせ ② 9/29 講師との打ち合わせ ③11/14 スタッフ打合せ(1回目) ④11/22 スタッフ打合せ(2回目) ⑤12/19 シナリオ作成 ⑥2019/1/9 シナリオ修正 ⑦ 1/28 担当者との打ち合わせ ⑧ 2/4 講師と最終打ち合わせ ⑨ 2/18 ケーブルネットワークセンターにて収録

<p>事業の効果 (工夫した点、反省点、 参加者からの意見など)</p>	<p>*工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、CATVを活用することにより男女共同参画活動の一端を多くの市民に知ってもらうことができたので、今回は、より伝わりやすく、分かりやすい内容を心がけた。 ・SOGIという考えを知ってもらうことで、LGBTを特別な人の問題ではなく、自分達の事として考えてもらえるようシナリオを作成した。 ・LGBT当事者に出演してもらうことで、リアリティを高めながら、視聴者にテンポよく理解ができる対談形式を採用した。 ・身近にある絵本を紹介することによって、社会の多様性とは何だろうと視聴者に考えてもらうきっかけとなる番組とした。 <p>*反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者のスケジュールの調整に苦労した。 ・シナリオの台本づくりに苦労し、セリフが覚えられなかった。 ・もっと、いろいろな絵本を紹介したかったが、番組構成の都合でカットとなった。 <p>*感想</p> <p>人間一人ひとりの顔が違うように、いろいろな考え方があることを知ること。お互いが違った考え方を受け入れることが「自分らしく生きること」に繋がっていると感じた。また、シナリオ作成等の打ち合わせを何度も重ね、スタッフ自身が性の多様性などについてより深く学ぶ機会となった。</p> <p>今後は、作成した番組（DVD）を様々な機会を活用し、もっと多くの市民に理解してもらうとともに、次世代へ繋ぐために、私たちに出来ることは何があるのか、どうすればいいのかを考えていきたいと思う。</p>
---	---

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。







「男女共同参画の視点からキャリアを考える」

出前講座

《さぬき市キャリアサポート》

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名： さぬき市キャリアサポート ）

事業の名称	「男女共同参画の視点からキャリアを考える」出前講座
テーマ	カードを使って自己開示をし、他者の力を借りた自分探し 学校教育の場において男女共同参画の視点で自らの将来を設計する 人生100年時代、シニア時代を自分らしくいきいきと暮らそう
開催日時又は納品日	第1回6月15日（金）10：10～11：55 第2回6月15日（金）13：05～14：50 第3回7月3日（火）13：35～15：00 第4回7月27日（金）13：30～15：00 第5回12月6日（木）9：30～11：30
開催場所	第1～3回 さぬき市立さぬき南中学校 第4回 志度働く婦人の家 第5回 津田支所新会議室
事業の実績 （実施内容、参加者数、納品数など）	第1回【実施内容】仕事カードを使ったワークショップ 「仕事カードで知ろう、探そう、私と、私の希望の仕事」 【参加者数】さぬき南中学校2年生62名 第2回【実施内容】仕事カードを使ったワークショップ 「仕事カードで知ろう、探そう、私と、私の希望の仕事」 【参加者数】さぬき南中学校2年生64名 第3回【実施内容】「職場体験に備えた マナー講習会」 【参加者数】さぬき南中学校2年生126名 【第4回】【実施内容】事前説明会 【参加者数】さぬき市女性団体連絡会代表者2名 【第5回】【実施内容】シニアカードゲーム 【参加者数】さぬき市女性団体連絡会役員6名

(別紙)

事業の効果
(工夫した点、反省
点、参加者からの意
見など)

【事業の効果】①自分らしく生きることと将来の夢、将来の職業は深く結びついていることに気づくことができた。
②人生 100 年の時代を自分らしくどう生きるかを模索し、将来に希望を見出すことができた。

【工夫した点】

- ①キャリアサポートの自作のカードを使用することで、
⑦生徒が各自の特性に気づく支援が行き届いた。
⑧シニア世代の今後の意欲的な生き方に寄り添えた。
- ②中学校とは特に綿密に連絡を取り合った。
先生方の協力が得られ学習の成果に現れた。
- ③参加者一人ひとりの発言を尊重することで、各自の考えがより深まっていった。
- ④カードワーク、マナー講座では、サポーターの配置・動きには特に留意し、生徒が活動しやすいことを第一に考えたことが講座の充実につながった。

【反省点】

- ①申請時は、「マナー講習」と、「シニアカードを使ったカードワーク」の2講座を計画していたが、「仕事カードを使ったワークショップ」を企画申請書提出後に依頼され、快く引き受けたが、負担が大きかった。
- ②女性団体連絡会の講座では、実施日直前まで参加人数が把握できず、ワークの進行方法に苦慮したが、再考することでより充実した内容を考える契機になった。「禍を転じて福と為す」の機会を頂いた。

【参加者からの感想】 (別紙資料として添付)

- ①「仕事カードを使ったワーク」では、単に職業を選ぶのではなく、結果整理シートを使って自己分析に至り、「今回の授業を受けてみて、はじめは自分がやりたい仕事ははっきり分かっていなかったけれど、最終的には、自分は人の役に立つ仕事や、人の生活のサポートができるような仕事をしたいということが明確に分かりました」との感想を書き、「将来に向かって頑張りたい。働くことの意味が分かってきた」と結んでいる。
- ②シニアカードを使ったワークショップでは、「自分発見があり、楽しかった」「他の人の考え方、関わり方がわかって良かった」「自分のところに集まったカードが、同じ傾向の文言で、自分はこんな性格なんだ、こんな生き方を望んでいるのかなと分かり、改めて自分探しを試してみたいと思った。」
「自分らしく生きる、を実感できた講座であった。」

カードワークを体験して <感想> さぬき市立さぬき南中学校 2年 平成30年6月15日(金)

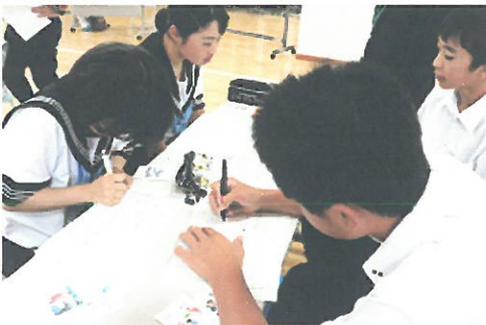
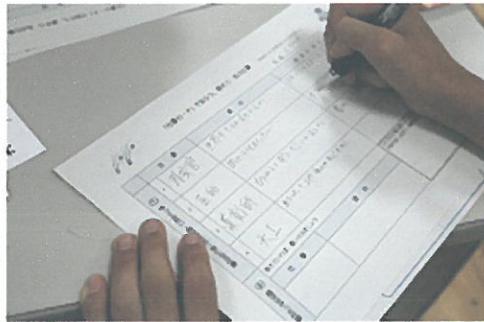
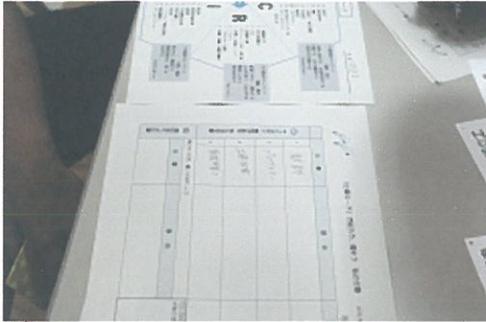
- * 今まで分からなかったけれど、ぼくは、生き物に関する仕事や、他人のためになる仕事が好きなんだなあと考えた。それから、なりたい職業は、全て免許が必要だったり、専門学校に通わなければいけなかったり、いろいろと大変だと思うので、今からでも少し勉強しておきたい。今回の授業を通して、職業は、自分の個性や違うことから、同じ職業を選んでいても、理由が違うことが分かった。
- * 「仕事カード」を使って、自分に興味のある仕事を見つけていく中で、自分に興味がある仕事について分かりました。私は事務・会計などの書類を作成するような仕事に興味があることが知れました。また、選ばなかった仕事から、創作してアイデアを出す仕事は苦手だと思いました。自分に興味のある仕事・あまり興味のない仕事分かり、将来の夢について、しっかり考えることができたと思います。班の中で意見を交流することで、自分と同じ仕事を選んでいても、理由が違っていたり、その仕事に対する考えがあったりしたので、話しておもしろかったです。今日のカードワークを通して、自分の将来について、しっかり考えることができました。自分の、興味のある仕事について、いろいろと調べて、自分の将来について考えていきたいと思っています。
- * 今まで、そんなに将来の職業について考えたことがなかったけれど、今回の「仕事カード」を体験して、知らなかった仕事も知ることができました。4つの気になる仕事を探してみても、私は、人と関わる仕事に興味があるんだなあと思いました。その仕事は、人の役に立つ・人によるこんでもらうという内容が多かったです。それらの仕事について、インターネットや本などで調べて、もっとわしく知りたいです。自分の気になった職業もしっかり調べて、自分の将来のことについて、しっかり考えていきたいと思っています。
- * 「仕事カード」を体験して私が選んだのは、「医師」・「保育士」・「プロスポーツ選手」でした。このことから、私は人と接すること、人の世話をすることに興味があるな、と感じました。また、班の人の選んだカードを見てみると、いろんな職業があって、1人1人になりたいものが違って、みんなの個性を感じました。医師・保育士・教師になるためには、免許をとる必要があるので、しっかり勉強をして、がんばりたいです。今日学んだことを、家で家族にも話をしたい。
- * 今日の授業を通して僕が思ったことは、全員色々な個性を持って、好きな仕事を選んでいるんだなあと思いました。僕は、科学とか医療系が好きなので、医師とか薬剤師を選びました。自分の好きな職業を選べたので、とてもよかったです。その仕事に向かって勉強やいろいろの事をしていきたいです。これから、薬剤師や医師のことを色々調べたりしていきたいです。意外だったことは、医師は免許がいるのに、薬剤師は免許がいらなかったことに、とてもびっくりしました。(▼お詫び:カードへの記入が漏れていました)
- * 今回の授業を受けてみて、はじめは自分がやりたい仕事ははっきり分かっていなかったけど、最終的には、自分は人の役に立つ仕事や、人の生活のサポートができるような仕事をしたいということが明確に分かりました。自分では知らない仕事がたくさんあったので、たくさん知れてよかったです。班の中で話し合った時も、いろんな意見が出て、1人1人個性があっておもしろいなと思った。これからの自分の将来の夢に向かって頑張りたいです。
- * 私は主に事務系のしごとが好きなんだなと思った。でも、やはりやりたいものに就くためには、相当な勉強も必要だなと感じた。それ以外にも今まで知らなかった職業もたくさんあったので、まだまだ可能性は無限大にあると思う。私の班では意外と芸能関係の仕事に就きたいと書いている人が多く、そういう仕事に就くためには、今からどんなことができるか何が必要かを知りたいと思う。今年は職場体験もあるので、それに合わせてもっと詳しい仕事のことをインターネットを使って知ったり、親に聞いたりして、より深く知っていききたい。

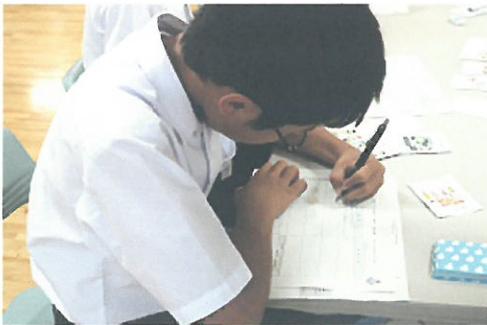
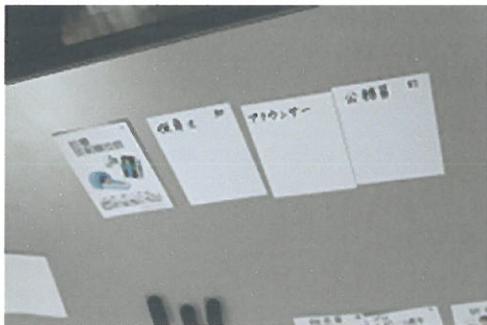
- * 今日の体験をしてみて、まず、お気に入りカードを 4 枚選んだところから始めて、最終的に選んだカードとはほとんど変わっていて、今日初めていいなと思った仕事や、昔からの夢だった仕事などあって、今の自分の興味のある仕事って、こんな感じなんだなと思った。新しい自分を見つけられた気がする。友達の選んだカードをみると、みんな自分の好きなことや興味のあることばかりで、個性が出ていたと思う。どの仕事を選んでいても、確かに、将来この仕事に就いていそうな感じで、意見を聞くのが楽しかった。でもまだこれっ！といった仕事が見つからないので、今のうちに体験できることはしておきたいなと思った。
- * 仕事はたくさんあることが分かりました。仕事は、私の身近なものから、まったく知らなかったものまでたくさんあってびっくりしました。うちの班では、みんな将来なりたい仕事が変わっていました。でも、その人にあっている仕事を選んでいたので、個性だなあ、と感じました。この学習を通して、自分に向いている仕事、やってみたい仕事、興味がある仕事がありました。また、その反対に、自分に向いていない仕事、あまり興味がない仕事がある分野なのかも分かりました。私がやってみたい仕事があるものなのかよく分かったけれど、その仕事をするためには、どんなことをしなければならぬかを、よく知らないことも分かったので、家に帰って調べてみようと思いました。今の時期が、一番可能性があると思えたので、私が、今目標にしている仕事を実現するために、これからもがんばっていきこうと思いました。
- * ほんのわずかな、短い時間でしたが、今日はありがとうございました。今日、この時まで、僕は、まだなりたい仕事が無くて、困っていたけれど、今日のカードワークで色々な仕事を知って、面白そうな仕事をたくさん見つけることができました。この他にもいろいろな仕事があって、他にどんな仕事があるのか、ワクワクしました。今回のカードワークで、少しだけなりたい仕事に目星が付きました。これから高校、大学と通いますが、この仕事探しのおかげで、行きたい高校、大学が絞ることができました。今日は本当にありがとうございました。次回の「マナーについての授業」も楽しみにしています。
- * 思っていたよりたくさん仕事があって、少し驚きました。自分がしたいことを仕事にできたらすごく楽しいし、やりがいがあると思います。私もやりたいこと、興味があることを仕事にできるように、今の自分にできることをしていきたいです。私は弁護士になりたいです。でも、なるには、試験を受けないといけないから、今は勉強をがんばります。私の班では、1人1人将来したい仕事が変わっていて、個性的でした。何か、おもしろかったです。また、1人1人価値観が変わっていて、その人らしい仕事を選んでいたので、すごいと思いました。講師の先生が言っていたドキュメンタリー映画、観てみたいと思いました。そこまでして学校に通うのは、とても尊敬できることだと思います。
- * 今日の授業を通して、自分は医療系が多いことに気づきました。人のために働きたいなと思いました。助産師や理学療法士は人を助けるためにあるものだし、やりがいがあるが、どの仕事よりも感じられると思いきなりなりました。でも、自分が知らなかったたくさんの仕事があってびっくりしたし、これからどんどん自分の将来を広げていきたいです。そして、いろいろな人から尊敬されるような人になって、たくさんのやりがいを感じられるようになりたいです。自分の将来が楽しみになりました。
- * 今まで真剣に仕事のことを考えていなかったけど、今回の授業で、少し気になる仕事が出てきました。自分のしたい仕事を早く見つけて、勉強して、実現したいと思いました。でも、その仕事に就くのにどれくらいの時間がかかって、何の免許がいるのか、まだ分からないので知りたいです。何千もの職業を少しでも知って、道を広げたいと思いました。今回のように、サポートをしてもらいながらすると、とても絞りやすいことが分かってとても良い経験になりました。本当に感謝です。

平成30年6月15日(金) 第1回 10:10~11:55 ・ 第2回 13:05~14:50 カードワーク講座 写真

(2年生126名を、午前と午後の2回に分けて実施した。写真は混合で提示) さぬき市立さぬき南中学校







マナー講座研修 <感想> さぬき市立さぬき南中学校 2年 平成30年7月3日(火)13:25~

- * 私は、普段あまり口にしない「尊敬言葉」などを、電話の練習などで活用してみて、すごく難しいなあと思いました。言葉の語尾に「あ」を付けずに言うこともわかりました。おじぎや歩き方も意識しないと、すごく難しかったです。これからは、普段の生活で今日学んだことを意識しながら行動することを心がけたいです。職場体験先の人たちに失礼がないような行動ができるようがんばりたいです。
- * 今日、職場体験学習に向けて、マナー講習会がありました。僕はまだどこに職場体験に行くか決めていません。けれど、早めに決めていきたいです。そして、職場体験に行くときは、必ず電話をしないといけませんので、その時のために、練習できたのでよかったです。しっかりと相手に声がおとるように、ゆっくり、はきはき言えたのでよかったです。

最後に、礼をするときの練習をしました。説明を聞き、上手にできたのでよかったです。今日のマナー講習会のことを生かして、職場体験学習に向けてがんばりたいです。
- * 今日のマナー講習会では職場体験のマナーについて、しっかり学ぶことができました。私は、3人組での電話の練習の時に、普段あまり使わない敬語で、かんでしまうことがありました。普段あまり使わない改まった言い方をするのは、難しいことだと実感しました。でも、友達と練習するなかで、友達からのアドバイスを意識しながら練習することができました。また、普段の何気ない動作でも、目上の人と接する時はマナーをしっかり守らなければならないということがわかりました。普段の生活から、身だしなみや言葉使い、お辞儀などについて意識して過ごしていきたいと思いました。今日、学んだマナーについて、職場体験学習や将来に生かしていきたいです。
- * 私はこの講習会を受けてみて、言葉づかいには、たくさんの言葉づかいがあることを知りました。気を付けたい表現の、「千円からお預かりします」や、「受付にお客様が伺われました」などは、普段からよく聞く言葉だったので、誤った言葉づかいだと聞いて驚きました。

これから、職場体験のお願い、事前打ち合わせ、日程確認の電話や、会社を訪問するときなど、言葉づかいに気をつけないといけない場面がたくさんあるので、仲間ことばは使わず、その場に応じた言葉づかいをしたいと思います。そして、「マナー」を意識して行動したいと思います。
- * 職場体験は、その職業について学ぶだけでなく、あいさつや礼儀などを学ぶ場でもあると思った。今日の講習会では、電話でのやり取りをしたが、普段使わない言葉を使ったので難しかった。それから、職場での言葉づかいも難しい言葉ばかりだったので、職場体験に行ったときに気をつけたい。今日の講習会を通して学んだことは、言葉は人間関係を築く上でとても重要だということだ。今後の生活にも生かして、職場体験でいい思い出ができるようようにしたい。

職場体験は、電話でのお願いや時間のことなど、準備が必要なことが分かったので、調べ学習などで、必要なものや、心構えをしっかり調べたい。
- * 今日、教えていただいたことは、職場体験の場だけでなく、将来仕事に就いて働くときも、とても役立つものだと思います。僕は小学校に体験に行こうと思っています。小学校の頃、よく話していた先生に会っても、忙しい仕事の中に、僕達を受け入れてもらっているという良心を忘れずに、一生けん命に働きたいと思っています。
- * 今までマナーにはどんなものがあるのかははっきり分かっていなかったけれど、今回のマナー講習会でいろんなお話を聞いて、正しい敬語の使い方や電話をかける時の決まりや大切なこと、いすの座り方、お辞儀、歩き方など様々なことが知れました。電話をかける練習をしてみて、ほとんど使ったことのない言葉と

かがたくさんあって、はじめは簡単だと思っていたけど、想像以上に難しく、つまってしまうことが何度かあって大変でした。本当に電話をしたときは、このように返事が返ってくるとは限らないので、すぐ対応できるようにしておかなければいけないと思いました。

* 少し早口で言っているから気をつけようと、アドバイスをくれました。電話をする時、もっと緊張して早口になりそうなので、普段からゆっくりと話すように練習したいと思います。早口だと感情があまりにももらないと思うので、感情を込める、早口で言わないことを心がけたいです。

電話では、メモを取らないといけないので、メモを取ることも忘れずに頑張りたいです。口調も気を付けて取り組みたいです。

* マナー(身だしなみ、表情、態度、あいさつ、言葉づかい)には、自分が思っているよりもずっと気をつけなければならぬことが分かった。マナーとは、「心の体現方法」で、相手を敬い、相手の立場に立って考え、態度と言葉で示さなければならぬということが分かった。そして、表現にも、今までは誤りではないと思っていたものが誤りで、とても驚いた。これからは、今日学んだことをしっかりと生かしていきたい。

* 今日の講習を受けて、私は座る時に膝が開いてしまうので、職場体験までに少しずつ直して行って、相手の方に失礼のないようにしたいと思います。お辞儀の時、私はゆっくりになりがちなので、少しすばやくするように意識して、だらだらした感じに見えないようにしたいです。他にも、今回言われたことを意識して、相手の方たちに迷惑をかけたり、嫌な思いをさせたりすることがないようにしていきたいと思いました。

* 今回もお忙しい中、私たちに「マナー講習会」を開いてくださりありがとうございました。ぼくは、身だしなみを整えるうちの、寝ぐせを直すことや、ヒゲをそるということにビックリしました。それから、いつも使っている仲間ことばをなくさず、相手に伝えるのはとても難しかったです。電話の練習の時に前に出て、「C」の役をまかされて人前でやると、なんだか緊張してかんだり、つまったりしてなかなかうまくいきませんでした。けれど、この講習で少しはうまく言えるようになったし、職場体験のときの電話をする時に、すごく役立つと思いました。

* まずはあいさつと身だしなみに気をつけて、にこやかに礼儀正しく、がんばろうと思った。電話をする時には、ゆっくり、はっきり、伝わりやすいように話した。でも、本番はアドリブで受け答えすることもあると思うので、台本だけ頭に入れるのではなく、相手がどう応答するか想像して練習しようと思った。みんなの前で発表する(練習の成果を見せる)時には、緊張した。礼は3種類もあることにびっくりした。また、それぞれ場合によって礼を変えることも分かった。今回の講習会では、学べることがたくさんあった。だから、学んだことを忘れずにおぼえておきたい。

* 職場先の人への言葉づかいや、礼儀などがよく分かった。また、普段聞いている言葉には、誤りが多いことも分かり、これからは生かしていきたいと思った。自分が職場体験に行くときは、あらたまった表現の言葉づかいや、礼儀正しい行いをして、マナーが守れる、さぬき南中学校の代表としてがんばりたいと思う。

* 普段あまり使わない敬語で、電話の練習をすると、イントネーションが変だと感じる所や、はっきりと発音が出来ない所があった。また、大切な部分をゆっくりと言うことも意識して実践できるようにしたい。また、礼の角度にしても、長さにしても、相手に与える印象が変わってくるのが分かった。また、礼をすると、首がおれてしまうことが多かったので、「ものさしを入れたつもりで」ということを忘れないようにしたい。敬語を不適切に使っていることが多いということにも気づいたので、適切に使えるようにしたい。

* 普段あまり使わない敬語を使うのは、とても難しかったです。尊敬語と謙譲語を使い分けるのはとても難しいことだと知りました。電話は相手が切ってから切る、「先言後礼」など、マナーにはさまざまなものがあることが分かりました。今まで知らなかったことを知ることができてよかったです。今日学んだことを、職場体験でいかしたいと思います！！ありがとうございました。

* 今日はお忙しい中ありがとうございました。電話はついつい緊張で早口になりがちだったのに、自分で気づけなかった時、先生方が「ちょっと早いね」と教えてくださいました。本番は、とっても緊張しそうなので、ゆっくり落ち着こうと思いました。難しかったけれど、とても良い経験になりました。周りの友だちと交流すると、1人1人違う所が課題で、同じ人がいないことにも驚きました。電話での受け答えで、学校の印象が決まってしまうことを知って、職場体験先では、今日学んだことを生かしていこうと思いました。

敬語・謙譲語、尊敬語を使い分けて、感謝しながら体験しようと思いました。女子は手を前にして柔らかな印象を与え、歩くときは中学生らしくしゃきしゃき歩こうと思いました。

* 今日、職場体験学習のときに大切な、「マナー」について教えていただきました。私は、人生で初めて、自分で会社の方に電話します。マナーは私にとって、「本当のできるのか？」というくらい不安でしたが、かがわキャリアサポート会長の仁賀さんや他の方々に教えていただいたおかげで、不安がなくなりました。電話のかけ方に椅子の座り方、歩き方、事前の打合せ、日程確認の電話など、たくさん学べてよかったです。「マナー」はこれから私にとってずっと大切なものになっていくので、しっかり勉強していきたいと思います。

* 今日の授業を通して、敬語は敬語でも使うと失礼になる言葉があるということにびっくりしました。また、グループで練習するとき、ゆっくりはっきりと伝えると印象がいいことも気がつきました。本番ではつまらないように、間違えないように言いたいです。見た目を大切にしたいです。あと、礼や歩き方も詳しく教えてください、勉強になりました。すべて、本番ではカンペキにできるよう、日頃から練習しておきたいです。



事前打ち合わせ



生徒126名



さぬき市キャリアサポート代表挨拶



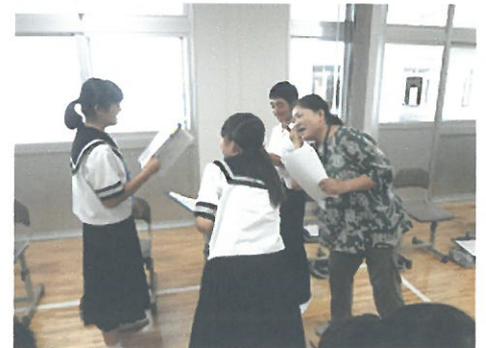
ファシリテータに賀さん



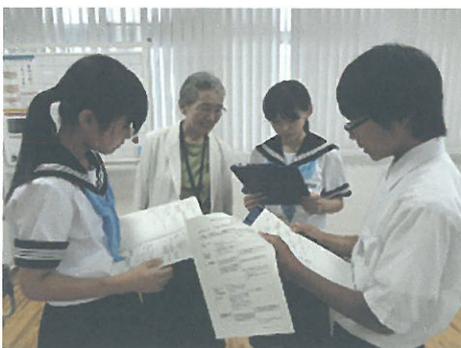
資料を前に緊張する生徒



先生方も応援です



絶えず生徒に寄り添って



男女共同参画市民企画講座アンケート結果

対象：さぬき市女性団体連絡会 日時：平成30年12月6日 午前10:00~11:30

参加者：6名 ファシリテータ：1名 サポーター：2名

1、あなたの年代は 60代（ 2人 ） 70代（ 4人 ）

2、このワークショップに参加されたきっかけは？

さぬき市女性団体連絡会役員会としての研修 （すべての人）

3、カードゲームはどうでしたか？

*自分の気付いていないことを考える時間が出来ました。グループの方々と

楽しい時間を共有することで、楽しく学ぶことができました。

*カードゲームは初めての経験でしたが、書かれている文面はどれもこれも当てはまる良い文面でした。トランプ感覚で進みながら学べて、身の回りの題材で楽しむことができました。

*自分のところに集まったカードが、同じような文言で、自分はこんな性格なんだ、こんな生き方を望んでいるのかなと、改めて自分探しをしたみたい。そして、これからの方向がわかって良かった。

*不思議と自分の思っているカードがまわって来た。生涯に渡っての関心は少しずつ変わっている自分に気付かされました。楽しかったです。

*あてはまることもあります。自分では思っていなかった事も少し、わかりました。

*人の考え方、人への携わり方がわかって良かった。

4、さぬき市の男女共同参画の推進に向けて実行していることは何ですか？

*特にはないが、講演会や研修があれば学ぶ機会を持ちたいと思っている。

*男女共同参画事業として、本年度映画試写会をして、映画の内容から男女共同参画の視点を軸に活動しています。言葉からして難しく思います。家庭内では、孫に対して、男の子女の子と区別せず、ご飯の支度とか、神仏へのお供えをする事にも積極的にしています。

*行事、講演は時間があれば参加するようにしている。

*男女共同参画のさぬき市企画講座に申込み実行している団体に所属、活動しています。
（例：LGBTなど）

*少しでも皆様に役に立つ事があればいいなあと思っておりますが、出来る事が限られてくるので難しい事です。

*男性・女性・障害者等を意識せずに、対等にお付き合いしていることです

主催：さぬき市キャリアサポート

代表 宮本 暢子

平成30年12月6日(木)9時30分～ 津田支所 新会議室
女性団体連絡会 男女共同参画研修会



「釈迦族の末裔による国際交流事業(講演会)」

《おへんろつかさの会》

様式第2号（第10条関係）

男女共同参画推進活動事業

実績報告書

（団体名：おへんろつかさの会）

事業の名称	釈迦族の末裔による国際交流事業（講演会）
テーマ	地域社会における男女共同参画の推進 ネパール人で日本で仏教を研究されている准教授より、釈尊生誕地やカイラス山巡礼地の講演を通じ、ネパールとの国際交流を深めること。
開催日時	講演会 平成30年11月25日（日） 13：30～15：30
開催場所	寒川農村環境改善センター ホール
事業の実績 （実施内容、参加者数）	演題： 「お釈迦さんのふるさとルンビニーとカイラス山巡礼地」 講師：スダン・シャキヤ（Sudan Shakya） 種智院大学准教授 参加者：72名 アンケート用紙の回収：51名（回収率70%）
事業の効果 反省点、参加者からの意見	○アンケート結果から、講演会を通じネパール国のことを多くの方が初めて知り、親しみを覚えたようであり、訪ねてみたいと回答した者が10名いた。（国際交流） ○五体投地巡礼のことは知っていたが、カイラス山巡礼地のことを知り、興味深い知識であったようである。 ○アンケート結果は、おへんろ交流サロンと共有し、今後事業計画に盛り込むなど参考にする予定。（英文・中文の標示板などの案件） ○前総本山善通寺 樫原 禅澄管長が参加され謝辞をかね法話を頂いただき、予定時間を延長したが、好評であった ○参加者数を心配したが、テーブル席は満杯となった。

講演会（平成 30 年 11 月 25 日）来場者/アンケート

【配布 71 名、回収 51 名】

<p>今回の講演会はいかがでしたか。 (回収数 43枚)</p>	<p><input type="checkbox"/> 満足 31 <input type="checkbox"/> やや満足 9 <input type="checkbox"/> 普通 3 <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満 0</p> <p>満足、不満の理由があればくわしくお書き下さい。 (時間が延び、少し寒かった。…… 2 名)</p>
<p>今回の講演会の開催はどのようにして知りましたか。(複数選択) (回収数 51枚)</p>	<p><input type="checkbox"/> チラシ 15 <input type="checkbox"/> 市/広報誌 9 <input type="checkbox"/> 市/ホームページ 2 <input type="checkbox"/> おへんろつかさのホームページ 10 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 12 <input type="checkbox"/> その他 (SCN-音声告知放送) 11</p>
<p>お釈迦のふるさとネパールについて (回収数 51枚)</p>	<p><input type="checkbox"/> 知っていた 10 <input type="checkbox"/> 詳しくは知らないが聞いたことはあった 31 <input type="checkbox"/> 知らなかった 10</p>
<p>今回の講演会で興味をお持ちになったことなどについて、お聞かせください。</p>	<p><input type="radio"/> ネパールに興味を持った 25 <input type="radio"/> ネパールに行ってみたい 10 <input type="radio"/> カイラス巡礼地へ行ってみたい 2</p> <p>* 講演会の効果： ネパールについて詳しく知らなかった人 (41名) が、興味を持ち (25名) 行ってみたい (10名) と思うようになることは講演会の効果である。 。(国際交流に貢献)</p>
<p>さぬき市おへんろ交流サロン (前山) へ海外からの歩き遍路者が年々増えています。 (H29年実績:330名) * 海外の人々の満足度を深めるための方法としてご意見を下さい。 (21名から提案をいただいた)</p>	<p><input type="radio"/> 各寺の英文のガイドブックを作成したらどうか。 <input type="radio"/> H.Pなどでビジュアルな情報や親しみやすいページを作る。 <input type="radio"/> 親切にやさしく接する。言葉が通じにくいがお接待の心で寄り添う。 <input type="radio"/> 通訳者、英語を話す人をおく。(6名) <input type="radio"/> 記念品をあげる (わらじ、線香、非売品のオシャレなもの……) 2名 <input type="radio"/> 看板を大きくし、英語・中国語・韓国語などを入れて欲しい。 <input type="radio"/> 「セツタイ」の慈悲の心を持って全ての人が接することができれば…地域で取り込む必要性を感じます。 <input type="radio"/> 遍路道沿いにゲストハウスか遍路宿を置く。 <input type="radio"/> お手伝いできることがあればしたい。</p>

アンケート調査の記述内容 H30.11.25 (日)

於：おへんろつかさの会記念講演にて

○親切にやさしく接する。

遍路道を聞かれたら、すぐ対応できるように受け答えをしてほしいです。
本来は世界遺産になるようです。多いに明るく接待をしましょう。

○英語を話せるボランティアガイドさん

記念品をあげる。(わらじ、線香・・・)

○私も高松市内でアメリカ人、他の外国人とも会いますが、多くなっていることを実感します。

○交流ができる方、英語を喋れることができるボランティアを派遣したほうがよい。

遍路道沿いにゲストハウスか遍路宿を置く

何か記念品を渡す。選べるようにして(お香、線香、非売品の何か

オシャレなもの、日常で使えるもの

○お手伝いできることがあればしたい。

○英語、Wi-Fi、ネット情報

○ボランティアによる説明

香川、四国の他の見どころも紹介する。

○通訳者を置いたらいいと思います。

○ホームページか、HIS スタート、ヴィジュアルな情報や親しみやすいページ作り、分かりやすいことを思います。さらに流布されるようにと願ってます。

○言葉が通りにくいが、お接待の心で寄り添う。

○世界遺産として、まずは英語と思います。

カタコトでも通訳できる人を常に前山で居てもらうことどうかしらと思います。もちろん英語が好きな人、進んで出来る方、ボランティアでできる方、それ

には少し説明の英語の勉強も大切と思います。

○外国人は「ナイトスタンド・プディスト」と言って、増加している。

仏教（釈迦）に興味を持ち学習をしている人が増加している。

巡礼を知れば来る人は多いと思う。（後は、時間が取れるかどうかだ）

日本の仏教は、ブッダの教えが書き換えられているが、

○何にへんろサロンで接待している。

外国の方が本当に熱心で巡礼している姿、若い人が自分探しと、様々な理由で遍路されているこの文化を伝えていきたい。

○相互理解をすすめる。

○遍路は観光ではない。本来の意味をもっと広報すべきである。

又、札所、奥の院についても保存と広報を十分に行ってほしい。

○すばらしい

○英語で書いた各寺のガイドブックを作ったらどうか？

○歩き遍路の方が多。増えてきたようです。

○お接待の充実

○「セツタイ」慈悲の心を持って全ての人が接することができれば・・・

地域で取り組む必要性を感じます。

○看板を大きくし、文字を英語、中国語、韓国語など入れて欲しい。道の駅に負けない様、是非、立ち寄ってみたいと思える様にならば欲しい。

講演会 (H30. 11. 25)

「お釈迦さまのふるさとルンビニーとカイラス山巡礼地」

講師：スダン・シャキヤ (Sudan Shakya) 種智院大学准教授



おへんろつかさの会設立十周年記念講演会

お釈迦さんのふるさとルンビニーと カイラス山巡礼地

釈尊の出身部族で釈迦族の末裔である種智院大学スダン・シャキヤ准教授にお釈迦さんのふるさとネパールと五体投地で知られるカイラス山巡礼などのお話をさせていただきます。
四国遍路との接点を感じながら世界の文化や歴史を学びましょう。

ルンビニー石碑



釈迦生誕地ルンビニー石柱と巡礼者

お釈迦さまのふるさとルンビニーにインドのアショーカ王が建立した(紀元前3世紀頃)石碑が建っており、碑文には釈尊生誕地であるルンビニーの住民には税金を減免したという内容が刻まれています。玄奘三蔵もこの地を訪れています。

カイラス山巡礼



カイラス山の周辺(1周約52km)をコルラと呼ばれる行為で回ります。多くの巡礼者は13回行いますが、五体投地で巡礼する信仰心の厚いチベット仏教徒もおります。巡礼路沿いにいくつかのチベット僧院、鳥葬場や仏足跡をみることができます。

日時：11月25日(日) 13:30~15:00

会場：寒川農村改善センター(さぬき市寒川町石田東甲330)

演題：「お釈迦さんのふるさとルンビニーとカイラス山巡礼地」

講師：種智院大学 准教授 スダン・シャキヤ (Sudan Shakya)



1972年 ネパールの古都パタン市生まれ
1996年 種智院大学入学、2000年卒業
2006年 東北大学大学院博士課程修了(文学博士)

申し込み不要
直接お越しください

主催：おへんろつかさの会
男女共同参画推進活動事業

お問い合わせ先

おへんろつかさの会(さぬき市商工観光課内)
〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8
電話：087-894-1114 FAX：087-894-3444
メールアドレス：syokokanko@city.sanuki.lg.jp

「映画から考える」
～世界を男女共同参画の視点で楽しく学ぶ～
《さぬき市友好翼の会》

男女共同参画推進活動事業
実績報告書

（団体名：さぬき市友好翼の会）

事業の名称	映画から考える ～世界を男女共同参画の視点で楽しく学ぶ～
テーマ	「生きる」を問う ～みんな同じいのちを生きている～
開催日時又は納品日	第1回 平成30年6月9日 午前10時～午前12時 第2回 平成30年7月14日 午前9時～午前11時 第3回 平成30年9月21日 午前9時30分～12時10分
開催場所	第1回 さぬき市大川公民館 第2回 さぬき市辛立文化センター 第3回 さぬき市津田保健センター
事業の実績 （実施内容、参加者数、納品数など）	1 上映候補5作品の試写会を実施し、各地域の上映作品を決定 2 事前学習会 上映作品、「世界の果ての通学路」「人生はマラソンだ」の舞台となった国・地域の歴史的な背景、現状等について講師による学習会を実施 3 映画上映会と意見交換会を3地区で開催 ①大川公民館 「世界の果ての通学路」 参加者数：58名（子ども7名、大人51名） ②辛立文化センター 「世界の果ての通学路」 参加者数：47名（子ども29名、大人18名） ③津田保健センター 「人生はマラソンだ」 参加者数：27名（男性の料理教室のメンバー中心） 「さぬき市津田町のヘルスマイト」（宇山雅代会長） 9名の方々のご協力を頂いた。
事業の効果 （工夫した点、反省点、参加者からの意見など）	別紙のとおり

※ 活動状況が分かるもの（記録写真、配布資料等）及び助成対象経費に係る領収書の写しを添付してください。

(別紙)

【事業の効果】 男女共同参画の基本理念である①男女の人権の尊重、②男女が個人として能力を発揮する機会が確保されることを、「生きる」を、テーマに置き、映画を通して世界の実情を知り、世界の視点で考えたことで、「夢をもって生きる」ことの大切さ、「他者を尊重する事の意味」を見いだせた。また、子どもと大人、男性と女性の意見交換で、お互いの交流が深まった。参加者から捉えた「人生は〇〇」だ、のアンケートから市民活動ならではの声を聞くことができた。

【工夫した点】

1. 子どもから大人まで、幅広い人から参加を募る為、映画の題目の選択に注意した。そこで、試写会を行い、熟考の上で外国映画2作を選んだ。
2. 将来に夢が持てない子どもたちが増えたとのデータを目にして、苛酷な環境の中で、夢を叶えるために学校に通う外国の子どもの様子を知ってもらおうと考え、「世界の果ての通学路」を選択した。
3. 様々な問題を抱えた家族の生き方を、コメディ風に、しかし、極めて真面目に描いており、作中の励まし合える仲間が存在、帰りを待っている家族の存在は、自らの「人生を考える」にふさわしいと考え「人生はマラソンだ」を選んだ。
4. 男性への呼びかけには、「男性料理教室」の参加者をお願いした。
5. 提案書には無かったが、映画の舞台となった国、地域の地理的条件や時代背景等を知るために、事前学習会を実施した。

【反省点】

1. 「世界の果ての通学路」では小学生を対象にしたが、中学生までに広げる。是非とも多くの子どもたちに観てもらいたい映画である。(感想より)
2. 「人生はマラソンだ」においては、若い世代の方を対象にした設定も考えればよかった。恐らく40代以下の世代では、今回とは違ったアンケート結果が見られるのではないか。今後の男女共同参画の推進に向け、幅広い世代を巻き込んだ企画にしていきたい。
4. 機材使用の場合は、事前の綿密な確認が必要である。
5. 子ども食堂が、子どもの数が少なくて取りやめになったこと。

【参加者からの意見・感想】(別紙アンケート資料を貼付)

1. オランダの5人の男性たちとその家族の生き方は、夫と妻、親と子、社長と従業員、また、それぞれの関係者たちの在り様を考える時、今後の私たち、ひいては子・孫たちに「生きるとは」、「いのちはみんな同じ」を伝える力をくれた。その種を、蒔き育てていきたい。
2. 単に日本は幸せだ、恵まれているとの意見で終らないようにしようと思った。
3. 「夢をかなえたい」一心で苦勞して学校に行く。希望がかないますように。

アンケート結果 (大人)

平成 30 年 6 月 9 日実施

(1) 映画「世界の果ての通学路」はどうでしたか。

①とてもよかったです	②よかった	③ふつう	④あまりよくなかった	⑤よくなかった	無記入
16	3	0	0	0	3

(2) (1) で①・②を選んだ理由は、どんなところがよかったですか？

- * 家族愛・兄弟愛がある。子どもたちに夢がある。勉強に前向きである。障害者も男も女も、教育を平等に受けていた。子どもたちに生きる力がある。
- * 勉強をして人のためになりたいと努力しているところが胸を打ちました
- * 勉強をしたい一心で大変な道のりを進んで行く姿。高嶋タカ子さんが「子どもたちに見てほしかった」と言う気持ち、本当に思いました。孫に話して聞かせたいと思います。
- * 私たち日本人は豊かな生活になり、便利なことに関し、感謝の気持ちを持っていないが、世界では、不便なのに、学校に行く事に喜びを持って頑張っている事がとても感動でした。
- * ドキュメンタリー映画で、日本では考えられないストーリーでした。日本をはじめ、先進諸国にはない、子どもたちには学校に行ける喜び、貪欲さが感じられ改めて日本の良さを考えさせられる映画でした。この映画、小学生高学年～中高生向きだと思います。各中学校でも上映して欲しいです。
- * 様々な国で、いろいろな国の子どもたちが学校に通っていることを知りました。大変な思いをして、学校に通っている子どもたちの姿に感動しました。
- * 通学するだけで何時間もかかっても、学ばせたいと言う親の気持ちと、学びたいという子の思い。将来、なりたいものがあるからこそできることなんだと思わされた。日本の教育のように、当たり前前に学校に行くが、学校で人間関係の難しさといじめ等の問題を思う時、本気で教育や子供のことを考えなければならない時だと思う。
- * 子供たちがどんなトラブルにも負けないで、一生懸命通学している。みんな考え方がしっかりしている。
- * みんな遠い学校に何時間もかけて行き、その先の将来の目標に向かっていっているところ。
- * 戦時中、中古の自転車で通学した自分を思い出したから、将来の夢に向かって努力する姿に感動。
- * どこの国でも親子のきずなは同じだと思いました。
- * 子どもたちが一生懸命勉強しようとしている、心、姿勢に大変感動致しました。
- * 子供達のたすけあいすばらしかったです。
- * 私達が考えられない事、たくさん出てきました。動物が出て来たら、急な坂道を生んで行って、きけん道を行ったり、驚くばかり、感動しました。
- * 日本の子供達には考えられない状況だ。あれで勉強が出来るとは。

- * 各々の子ども達が向学心に燃えて、困難な通学路を命がけで通り抜ける、必死さに心打たれた。各々の子ども達が立派に成人して目標を達して欲しいと思います。
- * 私たちの年代は40分かけて歩いていて、40kmの道のりを歩くのは大変ですが、子ども達の頑張りは想像以上でした。日本の子どもができる人がいるか考えさせられた。
- * いつだったかテレビで見たことはあったが、何度見てもよい番組で感動した。
- * 国が違い、生活感の差もかなりありますが、子ども達の、目標に向かっての目の輝きのすばらしさを感じました。

(3) 4組の通学路で特に印象に残ったものを、理由とあわせてご記入ください。

- * 子どもの目が輝いていた
- * 苦労を苦労と思わず、頑張る所がとてよかったです。みんな仲良い所もよいです。
- * 兄妹での通学に感動しました。兄が妹を助けながら、持っている知恵で動物から身を守るすべに心打たれました。
- * インド、ベンガル湾サミュエル君。身体の不自由な兄が学校に行くのを手助けし、苦労をしながら通う。将来の夢、は医者になり自分のような身体の悪い人を直し社会の役に立ちたいということに感動した。
- * どれもよかったのですが、特にケニアです。象に襲われかねない危険を冒してでも教育を受けたい、学びたいという意欲がすごく感じられた。
- * インドのサミュエル障害にも負けず前向きに学ぼうとしているので。
- * ケニヤ 毎日毎日が命がけ。
- * 危険な動物にも負けずに、自分なりによい方法をとって通学している。
- * サミュエル 兄弟の協力や、みんなの協力で通学している。また、大変な状況でも明るく学校へ行って、夢のためにがんばっている。
- * おんぼろの車椅子で、兄妹三人が助け合い努力すること。
- * 兄弟のきずながすばらしいと思いました。私達は何不自由ない生活なのに、感謝しなければいけないと思いました。
- * 4組全部にびっくりしました。日本では雨が降れば車で送るという習慣がついていますが、外国では大変だなあと感じました。
- * 車椅子の兄とそれを押す第二人の三人が協力して頑張っている様子がとても印象に残りました。将来この事は大変役立ち勉強になると思いました。
- * リヤカー（車椅子）に兄を乗せて通学する兄弟愛に心打たれました。
- * でこぼこの道を何時間もかけて学校に行く3人の子供。兄を車椅子で押していくのは心を打たれました。
- * インドの3兄弟の番組。
- * 障害者を持つ兄弟愛のすばらしさに感動しました。日本では考えられない。

(4) さぬき市の男女共同参画社会づくりの推進に必要なことは何だと思われますか。

- * 男性の積極的な参加だと思います。
- * 男女のみでなく、男女のいろいろな方面からの啓発活動と積極的な参加
- * お互いを尊敬し合い、意識の高揚を望む。
- * 女性たちのパワーはすばらしい。
- * 自身の健康に留意し、長く活動できるように。

(5) さぬき市の女性の活躍等について、ご意見・ご提案をお聞かせください。

- * 今活躍しているのは60歳以上です。40~50歳の育成も大事かと思います。
- * いろいろな企画をされていてよいと思います。もっとアピールしていただきたいです。
- * さぬき市の女性の活動はボランティア精神ですばらしいと思います。これからの活躍をお願いします。
- * 女性たちのパワーはすばらしい。活発によくやっている。
- * 今日の女性部の活動、チームワーク、高嶋さんのお話良かった。



会長挨拶



来賓挨拶



来賓挨拶



男女共同参画
国際交流推進
室長酒井有紀
様挨拶



講座について
趣旨説明



小学生の
参加

おじいさん
と孫がいつ
しよに



アンケート結果 (児童・生徒)

平成30年7月14日(土)実施

(1) 映画「世界の果ての通学路」はどうでしたか。

①とてもよかった	②よかった	③ふつう	④あまりよくなかった	⑤つまらなかった
15	6	6	0	0

(回答なし 1)

(2) 「①とてもよかった」「②よかった」と答えた人は、どんなところがよかったですか。

- * くらしがまずしくても、みんなでがんばっていたところ。
- * しょうがいがあっても学校に行くのがすごい。
- * 命がけで学校に通う世界各国の子どもたちの通学路にみ着したところ。
- * ジャクソンとサロメがゾウに見つかってもにげたのがすごかった。
- * 世界の人は、車イス、かける、あるく、馬で、などいろんなとうこうをしているのがわかりました。
- * 最後まで、学校に行くために、あきらめなかったところが、とてもよかったです。
- * 何時間、何kmかけても学校で学ぼうとする力がすごかった。
- * 一人一人が努力して、学校に行こうとして協力しているところがよかったです。
- * きょうだい友達で協力していたから。
- * 学校からとおくても友達とあうことがいいことだと思いました。
- * 今のあたり前の生活をありがたいと改めて考える機会になりました。
- * つうがくろがきけんでもくふうして学校に行こうとしたのがよかった。
- * どんなにとおくでも、学びたいという気持ちで学校にかよっているところ。
- * えいがにでてきた人たちは、いっしょうけんめい学校にかよおうとがんばっていたのがすごかったです。
- * 最後まであきらめず、しょうらいのゆめに向かってがんばるすがたがすごかった。
- * それぞれの通学路で困難な所があったが、くじけずに、がまんして、歩き続けたところ。
- * 世界の果てはいろいろな通学路があり、くろうしてもゆめにむかって、がんばっていてよかったと思う。
- * ぶじに学校についてよかった。みんなみんないのちがけでがんばったこと。

(3) いちばん感動したのはどの通学路のはなしですか。それはなぜですか。理由をかんたんに書いてください。

①ケニア (ジャクソン) のはなし

- * 15km ものサバンナをかけぬけるから。 * きけんなどうぶつかいても、ちゃんとのりこえた。
- * 2人で協力していたから。 * どんな危険とも戦っているところ。 * 兄妹のきずな。危険でもいく。
- * 水がなくなろうして水をとる、という習かんがないから、スゴいと思った。
- * もうじゅうがきてもあわてなかったのがすごかった。 * 15km もあるいて、
やせい動物にあわないように命がけで学校に行っているから。

②モロッコ (ザヒラ) のはなし

- * ゴロゴロとした岩のところもある 22 キロも歩くこと。 * 1 週間支え合いながら、がんばっているから。
- * 4 時間もかけて学校へ行っていたから。

③パタゴニア (カルロス) のはなし

- * 兄と妹と愛馬とで協力していたから。

④インド (サミュエル) のはなし

- * しょうがいがあっても学校に行くのがすごい。 * 三兄弟が力をあわせて学校に行くのがすごかった。 * 弟たちが兄の車イスをおしてとうこうしていること。 * 体が不自由でも学校に行くこと。 * 車イスを使っても登校しているから。 * きょうだいで努力しているから。 * 車イスでも、がんばってつうがくしていたから。 * さんきょうだいががんばって学校に行っているのがすごいと
かんどうしました。 * しょうがいがある兄をがんばってつれていくこと。 * 体が不自由でも登校していたこと。 * きょうだいのきずながよく伝わってきたから。

(①・②・③・④に共通していること。食事は手で食べていました)

* 兄妹、兄弟の仲の良さ。わがままな思いもあるが、お互いを思いやっている所。

* 歩く時速が悪路なのに、普通の2～3倍の速さで歩いている所。

(4) あなたの将来の夢はなんですか。

*ピアノのせんせい *美ようし(2) *薬ざいし *学校の先生(2) *小学校の先生
*べんご士 *助産し *有名人になる *バレーボールの選手 *かんどし *漁し(2)
*ポケモンかんけいの仕事 *獣医さんになってどうぶつをたすけること *1級けんちくし
*薬ざい師になって、薬をあげて、病気を治してあげる。 *世界一のダンサー *ようちえんの先生
*山形県のかも水ぞく館のクラゲの飼いく員になりたい *パンやさん(2) *こう筆の先生
*ペットショップのトリマー *ユーチューバー *保育士か幼稚園の先生

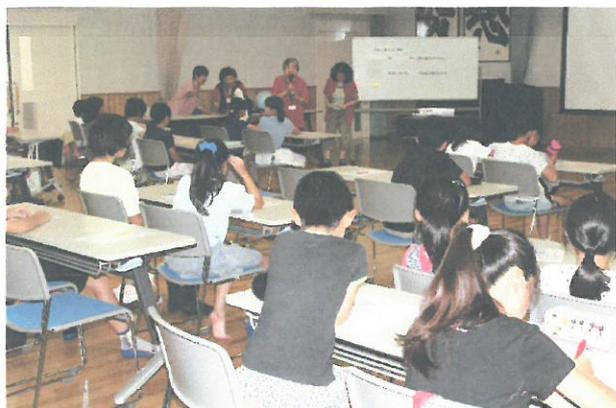
(5) あなたは何年生ですか。

*小3 9人 *小4 6人 *小5 8人 *小6 3人

(6) あなたのせいべつは

*男子 4人
*女子 22人

「世界の果ての通学路」上映会



挨拶と映画の舞台となった地域の説明



さぬき市友好翼の会の活動紹介



映画のあらすじと登場人物についての説明



世界の子どもたちは大変な苦勞をして
学校に通っています



今日の映画で何を感じましたか？
子どもたちとの共感と映画鑑賞参加のお礼

日時：平成30年7月14日（土）9時～

場所：辛立文化センター

アンケート結果

日時：平成30年9月21日（金）9：30～13：00 実施

場所：津田町保健センター

参加者（回収数）：男性16名（16）女性11名（8）

（1）映画「人生はマラソンだ」の内容はどうでしたか。

①とてもよかった	②よかった	③ふつう	④あまりよくなかった	⑤よくなかった	無記入
13	3	8	1	0	1

（2）映画「人生はマラソンだ」のご意見・ご感想を、ご自由にお書き下さい。

- * 職場の人達の人生ドラマがよく出ており、感動する場面が有り心打たれた。
- * 目標を決め全員が一致して実行する事の大切さ、人それぞれ悩みが有るが理解を得ることの難しさが有り、その苦勞も分かった。
- * オランダの価値観、多様な社会のあり方、偏見などが盛り込まれたテーマで、考えさせられた。自らの人生を、自ら決定する重さを考える機会ともなったので、参加して良かった。
- * 人生とは命を削って生きる事だ。
- * 色々な事が有ると思うが、前向きに生きる事だと思う。
- * ゴールまで完走させてもよかったと思います。
- * あのような最期もあるのかな？
- * ・お国柄の違いで、私には理解出来ない。
 - ・ キリスト教と仏教の違いで、宗教に対する考え方が違うように思えた。
- * 税金も払えないような工場で、ほとんど仕事もしないで、工作中からビールを飲んで、収入はどうやって得ていたのか、内容にもう一つ理解できないところがあった。
- * 税金がお互いの負担になるも、皆で協力した事を“人生” マラソンにたとえた。

* 家庭をかえりみず、工場を守る為、又従業員の為、マラソンと云う大変な逆境の中での出来事は思え大変なことです。

* いろいろな人生を歩んでいる人が、ある時出会い、何かのことを一緒にする時に、いいリーダーがいれば、感動も生まれるし、成果が出る。映画の中での「ギアのような人」、なかなかうまく出会えるか、それが問題か？

* 最初の方は少し期待が薄れたが、後半になってクギ付けで観せていただきました。ガンをかくし通して最後まで買った所、感動でした。社員の協力、絆にも心が動きました。とても良かったです。ありがとうございました。

* 仲間である事は、最後まで仲間であられるのでは？

* 男の人の友情・主人としての責任感・父親としての、工場主としての責任感を受けて、病気を隠してのマラソン大会。ゴールを目前にして命を落とします。仲間の熱い思いで完走でき、メダルをかける事も出来、本当に素晴らしい人生だったと思います。“人間は一人じゃない”社会生活の中で、生き生きと生きていこうと思います。

* これから 自分は 何を大切に思って生きていけば、悔いがなく幸せなのか、考えさせられました。そして、毎日を ていねいに 生きたいと思いました。ひとりひとりが、自分らしく生きることとは、ちがいや、思いをみとめることからだと改めて感じました。

* とても感動的な映画でした。ユーモアもあり、良かったです。

* 工場の5人の人達が、それぞれの問題を抱えながら、一つの目標に向かって努力する様子に感激しました。“やれば出来る”を学びました。

* 男女の別なく、自らが決めた道を、時には仲間と言えども秘密にし、秘密を守り、障壁を仲間と議論を闘わせながらより良い方向へ進んで行く。(私自身に大いに欠如と自覚) 夫、妻が相手に付き従うではなく熟考して自らの行動を選ぶ、自立した男女をみることができた。(無記入 5)

(3) 人生を一言で例えるならば、あなたはどんな言葉で表現しますか？自由に書いてください。

人生は『 』だ

理由： _____

* 人生は <input type="text" value="ゆめの世界"/>	* 予測する事が出来ない
* 人生は <input type="text" value="人の物でない自分の物"/>	* 人に頼っていても最後は自分が決める
* 人生は <input type="text" value="鉄道会社"/>	* 自分の進む道を考え、レールを敷設することができるから
* 人生は <input type="text" value="あきらめないこと"/>	* 人はひとりでは、生きられないから
* 人生は <input type="text" value="仲間"/>	* スムーズにいかない
* 人生は <input type="text" value="寄り道ばかり"/>	
* 人生は <input type="text" value="無限"/>	
* 人生は <input type="text" value="苦楽のくりかえし"/>	
* 人生は <input type="text" value="逆境の中でもやればできる"/>	
* 人生は <input type="text" value="1回"/>	
* 人生は <input type="text" value="(考えたことはない)"/>	
* 人生は <input type="text" value="出逢い"/>	* いろいろな人と交わることで人生が豊かになる
* 人生は <input type="text" value="感動と絆"/>	
* 人生は <input type="text" value="最後が良ければすべてよし"/>	* 現在進行形で今から何があるか分からない
* 人生は <input type="text" value="まだまだこれから"/>	* 義母も居り、孫たちもまだまだ小さく、仕事もあり、私のすることはまだまだ終わりません
* 人生は <input type="text" value="出会い"/>	* 与えられた命を心残りのない様感謝して生きる
* 人生は <input type="text" value="自由"/>	* 自分の信じる事、好きなことなど自分で選び自分で決め、自分で責任をもつものだから

* 人生は映画

* 人生は宝石のようなもの

* 人生は冒険

* 人生は自分が決めて進む道

* 人生は額きの足跡

* 人生は果実

* 人生は持ちつ持たれつ

* 人生はチョコレートのよう

* 人生は夏休みのようなもの

* 人生は綱渡りのようなもの

* 色々な出来事がある

* 磨かなければ単なる石。磨けば輝く

* わくわく、どきどきの繰り返し

* なかなかそうはいかないが、願望の域

* 自分が「良し」と思ったことの行為の跡

* 甘く、苦く、酸っぱく、色・形はとりどり、成長あり

* 一人では生きらず、助け合い、思いやりが必至

* 甘さに加えて苦みも必要

* どう過ごすかは本人次第。手助けもあり

* バランスが大事、思い切りも必要

「人生はマラソンだ」上映会



パネルでプログラム



上映に先立ち開会の挨拶（元木）



ご挨拶 津田町ヘルスマイト宇山様



「人生はマラソンだ」の解説（多田）



上映中 皆さん真剣です



食事の前にお礼のことば（高嶋）

日時：平成30年9月21日（金）9時30分～ 場所：津田保健センター

**平成30年度男女共同参画推進活動事業
男女共同参画につながる市民企画事業報告書**

さぬき市総務部秘書広報課
男女共同参画・国際交流推進室

〒769-2195 さぬき市志度 5385 番地 8
TEL 087-894-1660 / FAX 087-894-4440
E-mail danjokokusai@city.sanuki.lg.jp